

ザ・コラム
The column

大久保 真紀 (編集委員)

28年目に入った記者生活の中で、こんな体験は二度とないだろうなと思う取材がある。鹿児島県で起こった志布志事件だ。

2003年、県議選で初当選した志布志町(現在の志布志市)在住の県議が投票依頼のために買収会合を4回開き、現金計191万円を住民に配ったとして逮捕され、住民らと合わせて計13人が公職選挙法違反の罪で起訴された事件だ。当初、6人が会合で現金を受け取ったなど「自白」していた。

「自白」した6人は裁判で否認に転じ、現金を配ったとされた県議をはじめ全員が無罪を主張。私が06年に鹿児島県総局にデスクとして赴任したとき、鹿児島地裁で公判が続いていた。

当時の鹿児島総局の記者は、離島などの支局長を除くと6人。ほとんどが20代だ。24時間体制で事件事故、スポーツ、選挙、行政などをカバーして毎日2ページの県版を作りながら、捜査関係者から内部情報を得て、梶山天・総局長(58)の陣頭指揮のもと志布志事件の取材を重ねた。

判決が出る約4カ月前の06年11月、県版で捜査の問題点を指摘する連載を7回にわたって掲載した。①県警幹部が被告のアリバイ確認について地検に虚偽の報告をしていた②現場検証のとき、被告の言動を誘導した③捜査方針に異を唱えた捜査員を捜査から外した——などを書いた。ありもしない買収会合を県警がでっちあげ、被告らにうその自白を強要しようとした疑いが極めて強い、との内容だった。

連載の直後、総局長に電話があった。「素行に気をつけて下さい。尾行がついています。微罪でも引っぱられます」

内部情報を提供してくれていた捜査関係者の1人だった。取材への「協力者」捜しが捜査当局の中で始まっていること、我々の行動が見張られていることを示唆する情

最後まで見届けたい

志布志事件

報だった。スピード違反、信号無視などどんなことでも命取りになりかねない。私は総局員に「何かあれば、これまでの報道はすべてが否定される。行動には十分気をつけるように」と注意を促した。

ほとんどのメディアは沈黙したままだったが、その後も報道を続けた。一般的には捜査権力が「事実」として起訴した事件に真っ向から疑問を呈することは極めて難しい。しかも、判決前の「冤罪」報道だ。社内外から「大丈夫か」という声があがったが、私たちは突き進んだ。捜査関係者との秘密裏の接触は困難を極め、取材の空振りや無駄も数知れなかった。

当時28歳だった桑原紀彦記者は、事件の核心を知っているとみられる人物に接触しようとして自宅前で待機した。なぜかパトカーが巡回してきたため、身を隠すと、その人物は玄関へ。慌てて駆け寄ったが、ドアの向こうから「何も話すことはない」。翌朝早く訪ねるとすでに出勤の後で、その後2日間待ち続けたが、接触できなかった。

入社2年目、25歳だった吉永岳央記者は、県議が買収会合に参加したとする検察側の根拠のひとつである第三者の証言内容を確認するため、早朝、鹿児島市から3時間以上かかる志布志市に車で出かけた。何人もの関係者にあたり、昼過ぎに証言した女性の名前と彼女が宮崎県に住んでいることを突き止めた。そのまま、宮崎の自宅を訪ねたが、不在。近くで待って、夜10時すぎに帰宅した彼女にやっと会えた。話を聞くと、検察側が根拠とした「証言」は極めて怪しいものであることがわかった。

07年2月、鹿児島地裁は被告全員を無罪とし、「買収会合の事実が存在しなかった」と判断した。控訴はなく、判決はそのまま確定した。

先月9日、私は鹿児島地裁にいた。いまも続く元被告らによる国と県に対する損害賠償請求訴訟の口頭弁論を傍聴するためだ。刑事裁判で無罪を勝ち取った彼らは、なぜ無実の罪に問われたのかを知りたいと07年に民事訴訟を提起。これまで32回の弁論を重ねたが、国や県はまるで無罪判決などなかったかのように「捜査は適正に行われた」との主張を繰り返している。約2年の鹿児島総局勤務を終えて記者に戻った私は、東京から通い続けている。

7年前の無罪判決が出る日の朝。私たちはアルバイトも動員、地裁前で傍聴券をとるために抽選に並んだ。ある男性が「ここに被告の親族がいる!」と声を荒らげた。総局長が説明に出たが、怒りは収まらないう。すると、見ず知らずの女性が歩み出て言った。「朝日が事件を一貫して報道してきた。判決を多くの人に知ってもらうには記者に入ってもらった方がいい」。さらに、「朝日ががんばれば、がんばれば朝日」と。さまざまな妨害を乗り越えて「冤罪」報道を続けられたのは、無実を主張し続けた元被告と彼らを支えた人たち、内部情報を提供してくれた勇気ある捜査関係者、そして、こうした読者がいたからだ。

この体験が、私に「見届けなければ」という思いを強くさせている。裁判は原告、被告双方が最終準備書面を出し、年内にも判決が出る見込みだ。